

(令和5年度当初) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 **和歌山県** (都道府県: **和歌山県**)
 本事業の担当部局名 **福祉保健部 福祉政策局 子ども未来課**

事業メニュー		地域結婚支援重点推進事業			
区分		一般メニュー			
関連事業メニュー		1.1.2 結婚希望者の出会いの機会づくりを目的としたイベント・スキルアップセミナー			
個別事業名		わかやま結婚支援事業	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間		交付決定日 ~	令和6年3月31日	事業開始年度	H25 年度
対象経費支出予定額 ※(注)1		円			
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2		(地域における実情と課題及び本個別事業の位置付け) <地域における実情と課題> 本県の合計特殊出生率は令和3年1.43(令和2年1.43)で、全国平均を上回っているが人口維持に必要とされる2.07には遠く及ばず、出生数は減少傾向にある。また、コロナ禍により婚姻数が大幅に減少しており、今後出生数は更に減少する見込みである。 少子化対策としては、結婚支援事業や第2子以降の保育料の無償化、特定不妊治療の上乗せ助成などの様々な支援策を講じているが、今後親となる20代、30代の世代が減少する中、行政だけではなく、地域や企業、これから親世代となっていく学生も含めた社会全体での子育てをしやすい環境を整えていく施策を進める必要がある。			
		<本個別事業の位置付け> 1. 出会い・結婚の支援 ①県主催婚活イベントやわかやま婚活応援隊等による出会いの提供 ②結婚・子育てについての啓発 2. 妊娠・出産・子育ての支援 ①妊娠・出産・子育てまで一貫した伴走支援 ②子育て世帯の経済的負担の軽減 ③安心して子どもを育てられる環境の整備 ④子育てしやすい職場環境づくり など、出会い・結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目ない支援に取り組んでおり、本個別事業は上記1の①に位置づけられる。 この事業においては、結婚支援事業の基盤である個人参加型イベントの回数増や民間主催イベントへの後押しなどの拡充やコロナ禍でも参加できる仕組み作りを行い、出会いの機会の場を増加させ若者の結婚の希望をかなえることで、少子化対策に資する取り組みである。			
		(本個別事業における現状と課題) 和歌山県では平成25年度より少子化対策の一環として県主催の会員限定婚活イベントを実施。累計会員数が2,000人を超え、イベントに参加するための倍率も平均H29年度3.1倍、H30年度3.3倍となっており常に抽選となるため、R2、3年度は対面イベント回数を年10回から20回へ増やし、オンライン形式も併設するといった形で対応する予定としたが、新型コロナウイルスの流行の波により実施の縮小や中止を余儀なくされた。 R4年度はコロナ禍を理由とした中止は行わずイベントを実施した結果、半数以上のイベントで定員を超える応募があった一方、成婚率の向上に関してはイベントで成立したカップルのその後の追いかけができていないことが課題であり、また、R2から始めた塾形式のセミナーも3回連続で参加する必要があるため、集客は低調である。			
		(課題への対応) コロナ禍前に計画していたイベント回数の増を行うとともに(①)、イベント参加前から参加後までをフォローする伴走型支援を行うことで、カップル成立から結婚に至るまでの一貫支援を実施(③)。 また、イベント申込者の利便性向上や伴走型支援の実施のため、新たにイベント運営・管理システムも導入する(④)。 塾形式のセミナーについては、塾形式を止め1回ごとに参加できる婚活セミナーに形態を変更する(②)。			
番号	項目	内容		ステップアップ	KPI設定
1	県主催イベントの実施	県内外各地において、下記のとおり婚活イベントを主催する。 ・開催回数:対面形式 16回 ・参加人数:810人 (内訳) ①男女各15人 計30人×2回=60人 ②男女各25人 計50人×13回=650人 ③男女各50人 計100人×1回=100人 ・イベント前スキルアップセミナーの開催 ・サポーター等のフォローアップのほか、委託業者による伴走型支援を実施(③で実施) ※なお、対象経費には飲食費や体験料といった交付対象外経費は含まれていない		○	○

個別事業の内容 ※(注)3	2	婚活セミナーの開催	イベント参加を問わず、婚活を行う上での各種スキルアップセミナーを実施するとともに、参加者にはセミナー後の個別相談も実施。 ・回数：2回 ・参加人数：各30人x2回＝60人	○	○
	3	伴走型支援の実施	イベント参加後だけでなく、参加前から個別相談を実施できる体制を整えることで、伴走型の相談支援を実施し、カップル成立から成婚に至るまで継続してフォローを実施する。 ・(イベント前)会員登録時の事前面談 300人 ・(イベント後)カップル成立後の事後相談 100人 ・(その他)適宜会員の要望に応じて相談を実施 50人 ※原則オンライン面談orメールで実施予定。	○	○
	4	イベント運営・管理システムの導入	イベントに参加するための「事前会員登録」及び「参加申込」を一元化したシステムを導入。また、システム上から個別相談の実施や、交際管理等もできる機能も追加する想定。 ・第一四半期：業者選定、導入協議 ・第二四半期：システム導入、運用開始 ※専用HPも併せて刷新予定。	○	
	【次年度以降に向けた事業の方向性】 コロナ禍により希薄化してしまった人と人との繋がりを取り戻すため出会いの場をリニューアルし、市町村と連携しながら側面的支援を強化することで、コロナ禍前のような婚活を目指す。				
【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】 山形県飯豊町 いい出会いサポートセンター事業					

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4	KPI項目		単位	目標値	現状値
		合計特殊出生率			2
参考指標 ※(注)5	項目		単位	直近の実績	
		合計特殊出生率		1.43 (令和3年)	
		婚姻件数	件	3,264 (令和3年)	
		婚姻率		3.6 (令和3年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目		単位	目標値	現状値
	(アウトプット)				
		婚活イベント参加者	人	810	367 (R5. 1. 31)
		上記の達成率	%	100	60 (R5. 1. 31)
		事前セミナー参加者	人	810	330 (R5. 1. 31)
		上記の達成率	%	80	110 (R5. 1. 31)
		婚活セミナー参加者	人	60	15 (R5. 1. 31)
		上記の達成率	%	80	13 (R5. 1. 31)
		伴走型支援の面談者数	人	450	-
		上記の達成率	%	90	-
	(アウトカム)				
		婚活イベントの引き合わせ成立者数	組	100	90 (R5. 1. 31)
		事前セミナー受講者の満足度	%	70	80 (R5. 1. 31)
		ボランティア等の支援を受けた者の満足度	%	50	10 (R5. 1. 31)
		婚活セミナーの参加者の満足度	%	70	-
	他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	各市町村に広報の協力依頼を行う。			
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8	特になし				